

国道161号と湖西線は、私たちの安全で快適な暮らしと、地域の文化や産業の発展に無くてはならない存在です。

現在、高島バイパスは、側道利用区間の本線工事が進められ、湖北バイパスも、未整備区間の調査設計に着手されるなど弾みがつき始めました。

また、湖西線についても、強風対策工事が来春から行われることが決まるなど、皆さんの熱意によって、長年の懸案事項に解決の道が開かれようとしています。

進む バイパス整備

市内を通過する国道161号高島バイパスは、今津町弘川から高島市勝野までの全長15.3キロメートルのバイパスで、これまで、側道を利用し全線を暫定開通してきました。

渋滞緩和や事故防止に向け、現在、高島市勝野地先や新旭町北畑・新庄地先の側道利用区間で、本線工事が順次着手されています。

また、今津町弘川からマキノ町海



降雪期も快適な道路に！

市と県では道路交通確保と市民生活の安心・安全のため、本年度も積雪時の道路除雪を実施します。除雪作業をより効果的で円滑に実施できるよう、次のことについてご理解とご協力をお願いします。

- 除雪作業の障害とならないよう、車は適正な場所に駐車を！
- タイヤは冬用。スコップも常備。出かけるときは時間に余裕を持って！
- 石垣や庭木、ブロック塀など雪で隠れるものには赤い旗などの目印を！
- 降雪までに道路際の立木の枝打ちを！
- 火災にも備え消火栓や防火水槽の位置を明確に！

※十分注意しながら除雪作業を実施いたしますが、雪の塊が宅地への出入口や車庫前などをふさぐことがあります。ご不便をおかけしますが道路交通の確保のため、ご理解とご協力をお願いします。

(市役所土木課・県事務所建設管理部)



(国県事業対策課 ☎(22)0068)

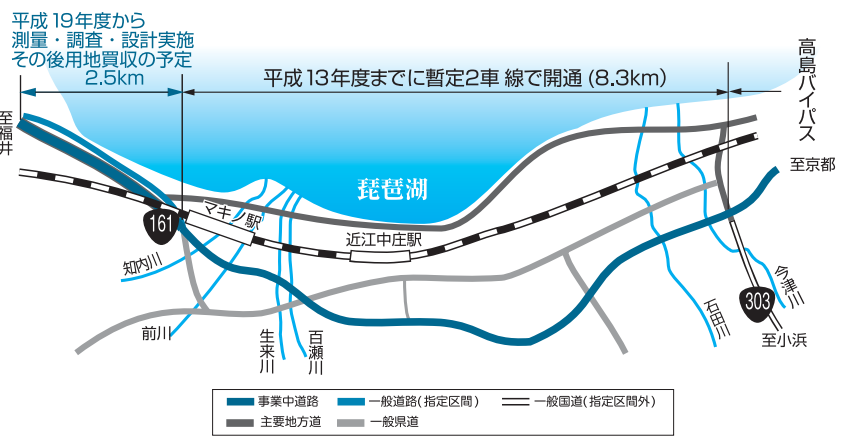


津までの10.8キロメートルの湖北バイパスでも、未整備区間であるマキノ町西浜・海津間で、今年度から測量・調査・設計業務が行われることになりました。

市では、総合計画に「市民の生活・産業になくてはならない重要な役割を担っていることに加え、日常的な利便性を支援する道路」として位置づけ、関係機関への要望活動等整備促進に、引き続き努めてまいります。

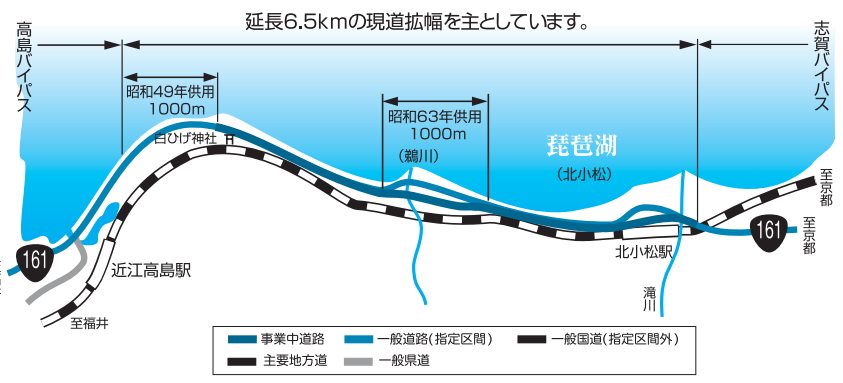
湖北バイパス・・・昭和48年度 事業化 マキノ町海津～今津町弘川 10.8km

平成13年度までに8.3キロメートルが暫定で2車線開通しました。平成19年度から、未着工区間であった海津～西浜間2.5キロメートルの測量・調査・設計を実施します。その後用地買取りとりにかかり、買収が終了次第、本工事に着手する予定です。



小松拡幅・・・昭和45年度 事業化

高島市勝野から大津市北小松までの延長6.5kmの現道を拡幅する事業です。平成19年度は、調査設計が実施されます。



なお国道161号の事業内容については、滋賀国道事務所ホームページ (<http://www.kkr.mlit.go.jp/shiga/>) でご覧いただけます。

高島バイパス・・・昭和45年度 事業化 今津町弘川(国道303号交差点)～勝野 15.3km

●高島工区は20年度、新旭工区は21年度完了を目指す
平成5年度までに側道の開通を含め全線暫定で開通しています。現在側道を使用している区間の本線工事が順次着手されています。

目標 平成21年度完了

新旭工区
(県道葦園熊野本線～安曇川)
平成21年度工事完了を目標に工事を進めています。



目標 平成20年度完了

高島工区
(和田打川～大溝橋)
大溝橋も含め平成20年度工事完了を目標に工事を進めています。

